

ACY U-14クラブカップサッカー選手権大会2026要項

大会要項

主 旨 U-14年代の公式戦の必要性を尊重し、愛知県サッカー協会3種委員会の公式戦に位置づけ、日本クラブユースサッカー選手権(U-15)愛知県予選のシード権と組合せを円滑に行うために開催する。

主 催 愛知県クラブユースサッカー連盟(U-15)

共 催 (公財)愛知県サッカー協会3種委員会

協 賛 (株)アルペン

期 日 令和8年8月29日～令和9年1月30日(1月31日は予備日)

会 場 県内各グラウンド

出 場 資 格 (1)(公財)日本サッカー協会に第3種登録しているチームであること。
(2)出場選手は、他のチームに二重登録していない2012年(H24)4月2日以降の出生者であること。
(3)中学生年代の選手7名以上エントリーできるチーム。
(4)第3種登録されていない選手であっても、第4種登録された6年生に限っては出場を認める。
但し、(公財)日本サッカー協会クラブ申請を済ませていることを条件とする。
(5)出場選手は登録選手証(写真貼付されたもの)を必ず持参すること。〔提示を求められた場合に提出できること〕
(6)選手は全員スポーツ安全保険に加入していること。
(7)資格3級以上の審判員を帯同できること。
(8)全日程を終えることができ、定められた期日に試合を実施できるチーム。
(9)監督会議に必ず出席できること。

参 加 申 込 (1)東海リーグを除く加盟クラブは原則出場とする。
不参加の場合、事務局(大会実施委員会)へ7月3日までにその意思を示すこと。
(2)8月28日までに参加費 6,000円を指定口座に振込み、同時にエントリー表兼メンバー表をメールで事務局へ送信すること。(シードチームは参加費4,000円を8/28までに事務局へ振込む)
(3)上位8チームは、追加参加費として4,000円を振込みすること。(12/4まで)
(4)エントリー表を送信する場合、元のファイルを変更したり他形式で送信しないこと。

そ の 他 (1)万一、試合中に負傷などの事故があった場合、当該チームにて処置をすること。
(2)主審、副審(有資格者)共に、割り当て通り出場チームで実施すること。必ず審判服を着用すること。
(3)書類提出期限、参加費の振り込み期限を厳守すること。
(4)万一試合中や会場までの往復中に負傷など事故があった場合当該チームにて処置すること。
(5)保護者を含め、ゴミは必ず各チームで持ち帰ること。
(6)各会場使用上の注意を必ず厳守すること。

振 込 先 三菱東京UFJ銀行(0005) 守山支店(769) 普通預金 1370785
愛知県クラブユースサッカー連盟 吉岡琢弥

大会規程

試合方法 (1)1次リーグは1グループ4、もしくは5チームを16ブロックにて実施する。(8月29日～10月24日)
※予備日10月25日、10月31日・11月1日は2次トーナメントの調整日
(2)2次トーナメントは1次リーグの順位により行う。(11月3日～11月23日) ※11月28,29日は3次の調整日
(3)順位トーナメントは2次リーグの順位により行う。(12月5日～1月30日) ※予備日1月31日
※順位トーナメント1回戦は必ず12月中に組むこととする
※諸々の事情により期限までにトーナメントの最終順位が決定できない場合、大会実施委員会で今後を決定する。

競技規則 (公財)日本サッカー協会「2025/2026競技規則」による。キャプテンオンリーを適用する。

試合時間 70分とする。(ハーフタイム10分以内)

順位決定 (1)①勝点法(勝3、分1、敗0) ②得失点法(得点-失点) ③総得点法
④対戦成績法(当該チームの対戦成績により1～4の順序で決定) ⑤抽選法
(2)2次トーナメントと順位トーナメントで同点の場合は延長を行わずPK方式により勝者を決定する。

警告・退場 (1)大会期間中、警告が2回になった選手は、最低次の1試合に出場できない。但し2次リーグ前に累積はリセットする
(2)上記(1)の行為を繰り返した場合、最低次の2試合に出場できない。
(3)退場を命じられた選手は、最低次の1試合に出場できない。その後の処置は規律委員会(連盟役員)で決定。
(4)上記(3)の行為を繰り返した場合、最低次の2試合に出場できない。

選手登録 (1)エントリー表に、選手30名、監督1名、スタッフ名を記載し、事務局へ提出する。
(2)試合毎の登録は、エントリー表兼チェックシートの先発欄に○を11名分と、ベンチ入りスタッフ5名(監督含む)に番号を付け、会場本部へ試合開始30分前に2部提出する。(外国人、女子に制限を設けない。)
順位トーナメントでは、3部提出する。(選手証の提出は大会第1試合目と選手入替えをした後の最初の試合のみ)
(3)Kickoffの時点において、必ずピッチ上に中学生が7名以上いるものとする。
(4)小学生(第4種登録選手)の出場はピッチ上に4名までとする。

交代 (1)交代は、残りの登録選手から9名までとし、再交代は可とするが再々交代は認めない。
後半の交代回数は3回とする。
脳震盪またはその疑いがあると、双方のチームのスタッフが認めた場合は、後半交代回数関係なく脳震盪交代として1試合に1名の交代ができる。その場合、相手チームは通常交代とは別に、追加交代として1名1回の交代を追加で得ることができる。
(2)後半の交代回数が3回を超えた場合は、没収試合とし結果を0-3とする。

試合球 公認球(手縫い)5号とし、各チームにての持ち寄りとする。(1チーム同種類2個提出)

- ユニフォーム** (1)正副2枚を用意(GK含む)し胸に番号(背番号と一致)とチームのマーク背に番号を付けること。
 (2)ユニフォーム色、背番号は、正副共にエントリー表と一致していること。
 (3)シャツ、ショーツ、ソックスの種類が全員同一であること。
 GKについては、登録GKが一致していればフィールドプレーヤーとメーカーが違って可とする。
 (4)ショーツに番号がついている場合、背番号と一致していて全選手に付いていること。
 (5)GKを含めて、シャツ、ショーツ、ソックスそれぞれ最低4色以上になること。
 (6)アンダーシャツを着用する場合、ユニフォームの袖の色と同色、同柄のものとする。
 ただし、今年度は緩和措置として、同一チームの競技者が統一して同色、同柄のものでもよい。
 (7)アンダーショーツ及びタイツを着用する場合、パンツの色と同色、同柄のものとする。
 ただし、今年度は緩和措置として、同一チームの競技者が統一して同色、同柄のものでもよい。
 (8)広告については、「ユニフォーム広告規程」に準ずる。(承認済み)
 (9)GKが控えを含め退場等の理由により試合当日続行不能となった場合のみ、フィールド選手によるGK出場の折の背番号については、GKのユニフォームを着用することによる不一致が発生しても良いこととする。
 (10)ソックスを止めるためのテープやバンドはソックスと同色でなければならない。
 ただし、今年度は緩和措置として、同色でなくてもチームで統一していればよい。
 (11)ソックスを止めるためのマジックテープなど、取り外しができるバンドは装着できない。
 (12)ゲームキャプテンは、アームバンド(キャプテンマーク)を必ず着用する。
- 審判** (1)審判員は、必ず審判ワッペンが付いた審判服を着用すること。
 (2)主審は、3級取得者(高校生以上)に限る。(但し、割り当てられたチームで3級が用意できない場合は、試合前日までに該当リーグ内で話し合いの上、必ず3級取得者が主審を務めるように準備すること。)
 (3)副審を2名出す場合、必ず1名は高校生以上の資格取得者(4級以上)とする。
 この場合、残り1名の副審に資格取得した中学生を使う際は、必ず連盟審判委員長に届け出をし、審判委員会の承認を得たものに限る。(実技審査実施)
 第4審判員も審判委員会の実技審査で承認を得た中学生(資格取得者)のみ第4審判員ができる。
 (4)審判員は各会場担当に審判証を提示すること。
 (5)第4審判員も審判服を着用すること。防寒対策として上着を着ることは可能だが、審判服は着用していること。
- 選手入替** (1)選手およびスタッフの入れ替えは1次リーグ終了後、2次トーナメント開始までの間で選手5名まで、2次トーナメント終了後、順位トーナメント開始までの間で選手5名まで認めることとする。
- 組合せ** (1)2025年度のU-13リーグの勝点率を算出した成績を基に決定し、1次リーグの組み分けを行う。
 上位16チームはシードチームとし、2次リーグからの出場とする。
 (2)1次リーグ各グループの1位の16チームとシード16チームを4チームの8ブロックに分けてトーナメント戦を行う。
 1次リーグ各グループの2位・3位の32チームを4チームの8ブロックに分けてトーナメント戦を行う。
 4位・5位の24チームを3チームの8ブロックに分けてトーナメント戦を行う。
 (3)2次トーナメントの順位によって順位トーナメントをノックアウト方式にて行う。
 ※U-13リーグ不参加のチーム及び新規参入チームについては、役員会にて抽選をし組分けをする。
- その他** (1)参加資格の違反や不都合な行為があった場合は、規律委員会にて処置する。
 (2)①原則は雨天決行。但し、その日の第1試合3時間前に暴風警報・大雪警報発令中の場合は中止延期とする。
 ②大雨警報や洪水警報が出ている場合で、会場運営ができなく試合中止が予測される場合には、チームで決定せず、会場提供チームに必ず問い合わせをする。
 (3)試合中に雷が発生し試合続行が不可能になった場合、その時点から再試合を実施する。
 その日の試合続行の可否については、危険防止を最優先に会場担当チームで決定する。
 (4)当日ベンチ入りと開始前ウォーミングアップは、エントリー表に登録されたスタッフ(5名まで)と選手のみとする。
 (5)各試合、第1試合の2チームが会場準備(原則1時間30分前会場入り)、最終試合の2チームが後片付けをする。
 (6)①定められた試合開始時間にチームの遅刻等で試合が始められない場合、10分以内までは開始を遅らせることが出来るが、その場合、試合時間は60分とする。
 ②定められた試合開始時間10分を過ぎて開始できない場合は、その原因となったチームを不戦敗とする。
 但し、会場までのアクセス途中での事故などの理由によっては、大会事務局へその旨を文書で提出することで、再試合を実施するかの検討をする。
 ③定められた試合日に試合実施が不能である場合、原則として不戦敗とする。
 ④上記②及び③の不戦試合の得点は、不戦敗チームを0-3の敗戦とする。
 (7)試合日程等詳細は(変更を含め)、必ず各チームの責任において、大会実施委員長、事務局に確認する。
 (8)この大会の上位16チームは次年度クラブ選手権1次予選を免除する。選手権の実施方法変更による変更はありうるものとする。(東海リーグの昇降格チームにより変更はありうるものとする)
 (9)1次リーグ及び2次トーナメントは表の黄色で示されているチームをブロック長として各ブロックで日程を決定する。
 (10)-1 順位決定トーナメントは、クラブ連盟役員がブロック長となり、日程を決定する。
 (10)-2 順位決定トーナメント(1位~8位)は審判派遣のため、追加参加費(4,000円)を支払う。
 (11)大会全ての会場使用料金は参加チームで折半して支払う。
 (12)1次リーグ、及び2次、順位トーナメント全ての試合において会場担当チームに競技役員交通費補助(1試合3,000円)が支給される。該当するチームは所定の書類を連盟事務局に期日までに郵送にて提出する。
 (13)大会が中止になった場合、大会実施委員会にて協議し、その後の対応を決定する。
 予備日までに大会が終了できなかった場合は抽選にて順位を決定する。